

# 「オオオニバス」

(一話一人ヴァージョン)（は、後に一話二人ヴァージョンを付す）

前川 泰信

## 説明

本作品は、1～5分程度の短い話を連続させたオムニバス形式の演劇である。（オオオニバスとオムニバスを掛けたベタな馴熟落であることは言うまでもない）

人数に応じて、演じる役を分担してもかまわないし、一人がすべてを演じても構わない。基本的に一つの話は一人で演じられるようにしてあるが、必要に応じて人数を増やして演じてもよい。複数にして演じるパターンは、最後に追加しておく。基本の展開は、「展覧会の絵」の有名な音楽を各話の間に置いて、いちいち青色の暗転をし、照明がついたら次の話にいくというものである。各話のイメージはホリゾントを染め分けることで基調を作るものとする。また、必要に応じて上からスポットで抜く。舞台上に置かれた葉の上で演技するので、動きはあまり多くないが、すべての葉に照明を絞ることはできないので、効果を考えて使用する。どの話が、どの位置の葉の上で演じられるべきかについては、役者が実際に動いてみた上で決定していく。

さて、内容であるが、読んで分かるように「戦争と平和」である。9・1・1の同時多発テロ、それに関わるイスラエルとパレスチナの対立、沖縄の基地問題、などなどを、日本の日常生活に滑り込ませて描くことを目的としている。テーマとしては通じているが、どの話が重要という順位付けはしていないので、演じる人数や時間に応じて、話を削ってもよい。また、演出の考えるように順序を変更してもよい。全話をゆっくり演じても、六 分をかなり切るようになっているはずである。ちなみに、が付いているものは、セリフを全て覚えなくても、全部もしくは一部を読みながら演じることが可能。

幕開け。

緞帳が上がり始めると同時に、ムソルグスキー「展覧会の絵」の「プロムナード」が流れる。この曲は、各話の間にすべて流れるが、フルで流れるのは、この最初の一回だけである。あとの話の間に流れるのは、最初の何小節かで切った短いものを何秒か流すにとどめる。役者の移動に必要な時間がかせげればよい。

緞帳が上ると、直径一メートルくらいの緑色の丸いものが、舞台上に十個以上点々と置いてある。「オオニバス」という水面に浮く植物の葉である。（よく子どもが上のつた写真をみかけるやつ）下手から、その葉の上を飛び移りながら、役者が登場。曲の終わりあたりで、真ん中の葉の上に立つ。

## プロローグ

役者、正面を向き、真ん中の葉の上に置いてあった植物図鑑を拾い上げて読む。

「オオニバス。スイレン科オオニバス属の植物。南アメリカ、アマゾン地方原産の水草。睡蓮の仲間で、水面に大きな葉を広げる。一枚の葉の直径は、2メートルを超すものもあり、世界一巨大な葉を付ける被子植物として知られる。葉は、縁が反り、たらい状になっていて、小さな子供ならその上に乗ることも可能である。 朝日百科『植物の世界』第9巻より」

青転。

音楽の間に、役者は別の葉に移動する。または、下手に引っ込んで、別の役者が上手から出でてくる。

明転。

## 第一話

役者、葉の上で正面を向いて話す。正面に母親がいる想定での対話。

お母さん、実は話がある。聞いてくれる？ 驚かないでね、実は今日、お別れなの。

ううん、彼の仕事について行くわけじゃないの。そりやあ、彼のことはとっても大切だけど、お母さんを置いてかなきやいけないわけではないわ。ほんのしばらく待つていれば、仕事も終わって帰ってくるし。

私がお別れするのは、それよりもずっとずっと大切な用事なのよ。黙つて待っていてもなんともならないことなのよ。

私、実は正義の味方なのよ。悪と戦うために選ばれた者なの。

お母さん、私たちの生活から平和が失われてずいぶん経つわね。全部、あの悪の組織のせい。やつらのために、私たちはいつまでもいつまでもおびえて暮らさないといけない。もう、こんなことを終わらせなければいけないの。分かるでしょ。

黙つていて「めんなさい。昨夜、出動命令が下ったのよ。だから私、行かなきゃならない。

泣かないで、お母さん。たしかにそうよ。私、嫁が待つてないからいいのかもしれない。彼の仕事が終われば結婚が待つてない私じゃなくても。

でも、考えたのよ。生まれてからこんなに深く深く考えたことがないくらい考えたの。彼と結婚して、子どもが生まれて、育つていく。あいかわらず、やつらの魔の手におびえながら。そんなのは絶対いやなの。私の子だけじゃない、これから生まれてくるすべての子どもたちがこんなつらい世界で育ついく。間違ってるよね。今変えなければいけないと思うの。

そう、私が死ねば、私の子どもはこの世に生まれない。けれど、それでほかの数え切れないほどの子どもたちの未来が平和になるのなら。もちろんよ、不幸になりたいわけじゃない。でも、私はしあわせを求めちゃいけないのよ、それが選ばれた正義の味方なの。

それじゃ、お母さん、いつきます。悪と戦つてきます。泣かないで、お母さん。私は、みんなの中で、お母さんの中で永遠に生き続けるわ。だから、私のことは心配しないで。

役者、正義のヒーローの変身ポーズをとる。なにか、変身の決めセリフみたいなのを発してもよい。変身の効果音がして、ストップモーション。そのポーズに、ラジオのニュースのアナウンスがかぶる。

ニュースをお伝えします。今日、日本時間の未明、イスラエル北部ネタニヤで自爆テロがありました。現場は商店街の中央付近で、買い物籠の中に隠し持った爆弾を破裂させたものとみられます。実行犯とみられる遺体も見つかっており、十七歳の少女であると伝えられています。この爆発により、5人が死亡、約90人が負傷しました。イスラエルでの自爆テロは3ヶ月ぶりで、パレスチナ自治政府と過激派各派がイスラエルとの一時停戦に合意してからは初めてとなります。ロイター通信によりますと…（アナウンス、フェイドアウト）

青転。

音楽の間に、役者は別の葉に移動する。または、下手に引っ込んで、別の役者が上手から出でてくる。

明転。

第一話

役者、葉の上に置いてある封筒を拾い上げ、中の便箋を取り出し読み始める。

拝啓

十一月を迎えて、吹く風にも空の雲にも秋の深まりを感じるようになりました。そちらはそろそろ冷え込んでくる時期だと聞いています。それに比べれば、こちらはずっと暖かいのでしょうか。いかがお過ごし

しですか。

お返事がなかなかもらえないで、失礼とは思いますが、またお手紙を書きます。

ずいぶん以前から、私の家には知らない人が何人も住み着いてしまいました。家の中の一番いい部屋に陣取つてしまつていて、動いてくれません。おかげで私たちは、自分の家なのに、日当たりも風通しも悪い、隅つこの方の部屋を窮屈な思いをして使わないと聞けません。

の人たちは、普段はとても明るくて、気さくない人なのですが、時折、機嫌が悪くなったりすると、私たち家族にひどいことをします。この間も、小さな妹が被害に遭いました。そのたびに強く抗議をするのですが、彼らには何かとても大きな後ろ盾があるらしく、滅多に謝つてくれませんし、補償がされることもありません。

お父さんやお母さんに、「あの人たちに出て行つてもらおうよ」と何度も言つたかわかりません。一人とも、迷惑な気持ちは同じだと思うのですが、お父さんの今の仕事は、あの人たちの紹介でもらえているとのことで、なかなか強く言い切れないのだと言います。ある日いきなり出て行かれても、家計が困つてしまつとお母さんも言つています。

でも、おばあちゃんは、「あの人たちが来る前は、たしかに貧しかったけれど、別にみんな飢えて死んでいたわけじゃない。なんとでもなるはずだ。」と言います。私はどう考えたらいいのか、迷つてしまします。

そこで、繰り返しお願いします。全員とは言いません。あの人たちの一人でも一人でもいいからあなた

の家で引き取つてもらえませんか。もちろん、あの人たちが自分の居場所へ帰れたら、それが一番いいのでしょう。あの人たちも、実はうちにいたくているわけではありません。でも、どうしようもない事情で、いるしかないのなら、うちだけが引き受けているのは不公平だと思いませんか。

おじいちゃんの言うには、あの人たちがいることで、あなたたちも得をしているそうですね。うちのお父さんのように仕事をもらつてしているわけではないですが、安心して暮らすための役に立つていてとか聞きました。それなら、それぞれあの人たちの居場所を負担しあつてもいいではありませんか。つらいこともあります。人間、慣れてしまえば、何とかなるものです。それでも嫌だと言われるのですか？ それなら、あなたがたがそんなに嫌がるもの自分だけが背負い込むのは、私たちの方も、もう嫌なのです。

お返事を待っています。

末筆ながら、あなたとご家族のご健康をご活躍をお祈り申し上げます。それと、あなたたちとわたしたち、みんなのしあわせも。

敬具

沖縄県普天間市 上原とみえ

青転。

音楽の間に、役者は別の葉に移動する。または、下手に引っ込んで、別の役者が上手から出でてくる。

明転。

おもちゃ売り場で、動こうとしない子どもを、母親がなんとか移動させようと手を引っ張っている芝居。一人の場合は、無対象で演じる。子ども役を立てるヴァージョンは後に掲載。

ほらー。ちょっと動きなさい。もう十分見たでしょ。え？ 買わないわよ、絶対。同じじみうなおもちゃ、おつりにたくさんあるでしょう？ 高いものをいくつも買えないの。安いのならいいかって？ 何、それ。BB弾？ 今おうちに持つての使いきつてからにしなさい。それならいくらでも買ってあげるから。今度は何？ 手品セット？ 島の出でぐるやつ？ 要らないですよ、そんなの好きでもないくせに。

もう、そこに戻しなさいって、もういい加減にして！（強く引っ張る）ああ、もうー。手、放さないから、落ちて壊れちゃったじゃないの。

（逆方向を見て）あ、お店の人？（子どもを振り返して）黙ってなさい！ よけいなこと言わないの。（お店の方へ）駄田よ、こんな落ちやすいところに並べちゃ。けがしたらどうすんの？ 改善していくね。意見箱に入れとくから！

（子どもを振り返して）いい？ 簡単に謝っちゃだめ。自分が悪いってことを認めたら、ゼーんぶ今までのことも間違いつことになっちゃうの。たとえば、わたしたちの住んでるおうちは、昔、もともと住んでた人たちを無理矢理追い出したところなの。そういうことから始まって、全部責められるのよ。そ（子どもを振り返して）いい？ 明日から、みんなに威張れないでしょ？だから、何をやつても、とにかく正しいって言い張る。悪いのは全部相手なのよ。分かった？

ほらほら、もう泣かないの。強くなきゃ生きていけないのよ。あ、ほら見てこりん。あーんなにいっぱい、テレビがあるよ。こいつこいつ。（しばらく見る）もついい？ ジャ、行くよ。お母さん、買いたいものあるから。サラダ油の特売。間に合わないからね。ほら、行くよって。もういい加減にしてよ、テレビならうちで見れるでしょ？

何、メキシコで銀行強盗？ よくあることよ、ほら、行くよ。何、フランスで飛行機事故？ それもあるある、ほら。何よ、え？ 中國で地震？ 分かった分かった、後でね。日本で首相が変わった？ 一番どうでもいい、そんなの。え？ ハワイで津波？ うーん（ちょっと迷う）、ま、特売が先ね。ほら、立つて！ 置いてくよ。いいの？ はいはい、走る走る。もう、どうかな。（売り場に到着。正面を見て）ああ、売り切れだ！ 困ったなあ。あ、（子どもを振り返して）いい、あそこに置いてあるカート。あれに入ってる油、持ってきて。いいの！ お金払う前は、まだ誰のものでもないんだから！

いきなり青転。

音楽の間に、役者は別の葉に移動する。または、下手に引っ込んで、別の役者が上手から出でぐる。

明転。

役者、葉の上に置いてある当番日誌（黒表紙）を拾い上げる。「一人ヴァージョンで行つ場合は、途中に出てくる「音楽係」「委員長」「担任の先生」を別の一人が演じる。

起立、礼、おはようございます。昭和八十年十一月十一日 土曜日。朝の会を始めます。朝の歌を歌います。音楽係の人、指揮をお願いします。今日は、「螢の光」の三番・四番を歌います。

つくしのきわみ	みちのおく
うみやまとおく	へだつとも
そのまごころは	へだてなく
ひとつにつくせ	くにのため

ちしまのおくも	おきなわも
やしまのうちの	まもりなり
いたらんくにに	いさおしく
つとめよわがせ	つつがなく

着席。連絡事項を読みます。

「一。社会の吉田先生からの連絡。ずっと前に出してあつた宿題が、まだほとんど出ていません。急いで出してください。」

「二。児童会の連絡。今日の昼休みに、校則の改正についての話し合いをしますので、議員の人は必ず多目的ルームに集まつてください。その時に、九番目の校則についてのクラスの意見をまとめた紙を忘れずに持つてください。」

「三。今日は大掃除です。特に、水路の所にごみがこびりついているので、念入りに掃除しましょう。」委員長が書いてくれた今日の目標を読みます。（黒板を振り返つて）今日の目標は、「自分のクラスに誇りを持とう」です。

先生のお話。今日は担任の先生が出張なので、メモを読みます。

「今年は、昭和がちょうど八十年になつた節目の年です。十七年前に昭和が終わつたと言う人もいますが、昭和は簡単に終わりません。みんなの生年月日は平成生まれになつていますが、紛れもなく昭和の子です。この春も、靖国神社というところへ、どうしても参拝しなければいけないと思う人の主張と、参拝することが許せないという国の主張とがぶつかって、問題が起きましたね。六十年経つても原爆病で苦しんでいる人、六十年経つても日本軍の仕打ちに対する補償を得られない人、そういう人たちも大勢います。本当にあつたかどうか、論争が続いている戦争中の出来事もあります。昭和が終わつていなことがありますね。そういう昭和の問題の決着は、残念ながら、いくつかは君たちの手

に委ねられてしまつかもしれません。だから、みなさうにとつても昭和は終わつていよいのです。みなさんはそつこつ時代に生きてゐるのです。今年は昭和八十年。忘れないでください。」  
これで、朝の会を終わります。起立、礼、着席。

青転。  
音楽の間に、役者は別の葉に移動する。または、下手に引っ込んで、別の役者が上手から出でてくる。

明転。

## 第五話

役者、あぐらをかいて葉の上に置いてあつた雑誌を見始める。葉の上に置いてあつた携帯電話が鳴る。役者、それを拾い上げる。雑誌をめくしながら話す。

もしもし。あ、お父さん。何？ あー元気元気。お母さんちよつと出かけてる。ん？ 別に何もしてないけど。学校？ まあ普通。うん？ 部活はやめたつて言つたじゃん、この前。何？ (ちょっととの間相手がなかなか話さないので) 別に用事ないなら切るけど。え？ 大事な話。じゃ、早く言やいいじやん。いや、別に忙しくないけど、話すことないし。何？ よく聞こえない。泣いてんの？ どうしたの、お父さん。愛してるつて、え？ バカじゃないの？ キモイよ、いきなり。どうしたのよ、一体。うん。

うん。うん。ええっ！ (雑誌を落として立ち上がる) ほんと？ [冗談じゃないよね。どつ、どつ、どつ、どつ、どつ、どつ] どうしたらしい？ 大丈夫なの？ そつか大丈夫なわけないか。ねえ、どうしようどうしようつ、お母さんいないし。あつ、警察に連絡すればいいのかなあ？ それとも消防署？ え？ どうこうこと？ テレビ？ あ、テレビテレビ。(田の前の無対象テレビにソニコンでスイッチを入れる) あつ (しばらく見つめる) これ何？ 建物燃えてるけど。ああ、一機田が突っ込んだのがこれなんだ。え、じゃあ、お父さんの飛行機、ここに向かつてるの？ うむ、どうして？ だつてこれ、アメリカであつたのとおんなじじやん。え？ ほかの国でも似たようなことがあつた？ そうだつけ？ でも関係ないじやん、うちら。なんでお父さんがこんな。いやだよ、お父さん！ お父さん！ うん？ 落ち着けるわけないじやん！ ねえ、死なないで！ 私たちこれからどうしたらいいのよー でも。だつて。うん。聞くよ。うん、しつかり聞くから。うん。うん。そうする。うん。うん。絶対、忘れないから。うん…。うん…。(後は無言でしばらくうなづく) あ、(テレビ画面に釘付けになる) いや、お父さん、お父さん、お父さん！ イヤー！ ! ! (画面を見つめてしばらく茫然自失する。やがて携帯に向かつて) 愛してるよ。愛してる。ねえ、返事して。愛してみー。」

とてもゆづくり青転。

音楽の間に、役者は別の葉に移動する。または、下手に引っ込んで、別の役者が上手から出でてくる。

## インター「シシヨン」

音楽の間に、役者がじきなり、移動をやめ、正面に向かつて呼びかける。

ちゃん！ ちょっと顔出してくれる？

音響ストップ。明転。役者、照明室に向かつて呼びかける。

ちゃん、ちょっと顔出してくれる？

照明の窓を開けて、照明係顔を出す。「なに？」 役者呼びかけて、

役者 あのさあ、これ、ほんとに最後までやんの？

照明 何言つてんの。本番だよ？

役者 いや、だからさあ。なんか、観客が急速に寝てくのが、ここから分かんのよ。

照明 あ、そなんだ。

役者 こいつの、たぶんみんな興味ないとと思うんだよね。

照明 そうだろね。

役者 そう思つと、やつてゐるキャストはかなりつらいわけよ。

照明 ま、分かるけどさあ。始めちゃつたんだから、やつけるしかないんじやないの？

役者 えー。

照明 はつきし言つて、私ら自身が興味ないけどさ。

役者 だよね。

照明 でも、無視したまんまでいい話でもないじやん。  
役者 やつぱり？

照明 なんかさ、じつこうのつて、絶対必要だつて！

役者 そなかなあ。

照明 がんばれ。

役者 はーい。（元音響） ちゃん！ めん。じゃ、音、もう一回お願ひい。

改めて青転。

音楽の間に、役者は別の葉に移動する。または、下手に引つ込んで、別の役者が上手から出していく。  
明転。

## 第六話

激しいテンポで音楽が鳴り響く。役者は髪を振り乱して、ノリノリで踊り続ける。それにかぶさつて、ニュースが流れる。

七時になりました。ニュースをお伝えします。まず最初のニュースです。今日、午前十一時四十六分ごろ、東北地方で大きな地震がありました。震源地は宮城県沖で、震源の深さは約四十二キロ、地震の規模を示すマグニチュードは7・2と推定されます。この地震で、六十人が重軽傷を負い、プールの屋根が落ちるなど、建物などにも大きな被害が出ました。

次のニュースです。スリランカの外相が暗殺されました。次のニュースです。今日午後四時半頃、宮城県登米市の米山駐在所で、男子警部補が、中学三年生の少年に背中や頭などを数ヵ所刺されました。警部補はその場で少年を取り押さえ、殺人未遂と公務執行妨害で現行犯逮捕しました。（などと、その上演に近い時期に起きた内外のニュースを、時間いつぱい取り上げる）

曲の終わりと共に、ニュースも終わる。踊り終えた役者は、満面の笑顔で正面に向かってピース。

ピース！ 愛し合つてる？

青転。

音楽の間に、役者は別の葉に移動する。または、下手に引っ込んで、別の役者が上手から出でてくる。  
明転。

## 第七話

役者、葉の上に置いてあつた作文用紙を拾い上げる。ゆっくりと子どもの口調で読む。

「おばあちゃんから戦争体験を聞いて 六年三組 水野ゆうき

夏休みの宿題で、おばあちゃんから戦争のお話を聞きました。

おばあちゃんが子どもの頃、とても戦争が激しくて、よく空襲警報というのが出たそうです。空襲というものは、アメリカの飛行機が日本の空まで飛んてきて、焼夷弾という爆弾を落としていくのです。そのたびに、防空壕に隠れて、飛行機が行つてしまつまでじつとしていたそうです。

一度、おばあちゃんは防空壕に入るのが遅れて、道を走つている途中で、目の前に焼夷弾が落ちてきました。とてもこわいなあと思いました。

夜になつて電気をつけると、灯りが外から見えて爆弾を落とされるので、電灯の周りに黒い布を巻いて、光がもれないようにしていました。

学校も、戦争のせいではほとんど勉強ができなかつたそうです。学校でやつたことは、勤労奉仕と、軍

事訓練でした。勤労奉仕というのは、食糧が足りないので、校庭を耕して芋を作ったり、飛行機などの部品を作る工場で働いたり、ほかにもいろいろ戦争に協力するための仕事をすることです。軍事訓練というものは、敵が来た時に戦えるように、竹槍で相手を倒す練習をしたり、空襲で焼けたのために水を運ぶ練習をしたりすることです。

おばあちゃんのお兄さんは、予科練というところに入つて、爆撃機の操縦をしていました。戦争が終わりになる頃に、飛行機ごと敵にぶつかって戦死したそうです。

おばあちゃんは、一生懸命いろいろな話を聞かせてくれました。全部は書けないくらい、たくさんのお話でした。おばあちゃんがすこく聞いてほしいと思っていることがとても伝わってきました。「平和はすぐ大事だよ。もう絶対に戦争をしちゃいかんよ。」と何度も言つていました。

先生に怒られるかもしないけど、私はおばあちゃんのことがとてもうらやましいと思いました。戦争の話をされるおばあちゃんは、いつもより真剣で、きらきらしていよいよでした。自分にはおばあちゃんみたいに、一生懸命にじうしても伝えたいこともないし、命をかけて何かをやったこともあります。高学年になつてからは、頑張る気持ちが少しずつ減つてきました。毎日が同じことの繰り返しで、これからもずっと似たような日が続くと思うと、気持ちが沈んでしまうこともあります。孫ができても、おばあちゃんのように話せるとは何もないと思います。戦争でつらい思いはしたくないけど、おばあちゃんみたいに、何があるか分からぬ「ドキドキした毎日を、必死にきらきらして生きてみたい」と思いました。」

## 青転。

音楽の間に、役者は別の葉に移動する。または、下手に引っ込んで、別の役者が上手から出でてくる。  
明転。

## 第八話

役者、椅子を持つてくる。無対象の生徒と面談をする教員。斜め前を向いてひざに面談簿（黒表紙）を置き、座つて話をする。

じゃあ、まあ座つてちょうどいい。なんで呼ばれたか分かるわね。え？ 分からないわけはないでしょう。

あなたねえ、いい加減わがままをやめなさい。いい？ クラスでせつかく頑張つて学園祭にいいものを出そうと話し合つているんでしょう。意見を出すのはいいわよ。出し物に関する好き嫌いがあるのも、それは仕方ないとと思う。人間だからね。

だから、そういう感情の問題も含めて、長く話し合いを続けているんだしよう。で、それそれに好みはあるけれど、予算の問題や、みんなの活躍の場があるかどうかってことをいろいろ検討して、だんだんにあのお芝居をやる方向に固まってきたんじゃない。それなのに、何？ ろくに話し合いにも参加していなかつたくせに、こきなり「そんなの俺はいやだ」。

みんながどうしてかって聞いてるの、とにかくこやだの一点張り。それじゃ、何考てるかさっぱり分からぬでしょ。話し合のルールを無視してんなじにならぬ? どうなの?  
…また、だんまり? だまつてるんなら、ずっとだまつて自分の仕事をすればいいじゃない。それなのに、あなた、なんて言った? 「これをやるんだったら、絶対俺が邪魔してできなによつてやる。」  
そんな言いぐさがある? あなたは、間違つたことをやるつて宣言してるので。間違つたことをやりせたくなれば、こつちの思う通りにしろつて、そんな馬鹿な理屈がどいにあらむ?  
あんまりあきれたから、みんな話し合の気力なくなつちゃつたでしょ。せつかく担任なしで話し合いが盛り上がつてたのに、台無じじゃない。

仕方がないから、今の発言だけは撤回しなさいつて言つたら、「絶対に邪魔する」って言い張つたわね。それじゃ、あなたをクラスに置いておくこと自体ができなくなるでしょ? いいの? このクラスにいられなくなつても、何とか言つたらどうなの? (ためいき)あのねえ。無理矢理妥協しろつて言つてるわけじやないの。ただ、ちゃんと話し合わなきや、前に進めないでしょ。あなたにとつては、この世界にあなただけ、ほかは全部服従つてのが理想みたいだけど、そういうわけにはいかないのよ。この前も、人の筆箱からシャーペンやら、消しゴムやら、あつちこつから勝手に取り出して、自分の筆箱に入れてたでしょ? あなたが持つてるんじやないのつて言つても、絶対知らないつて言いつつ、それなら見せてつて筆箱開けたら、他の人がぞろぞろ出てきたでしょ。しかも、あなた、それに自分の名前書いてたわよね。持ち主に返したら、あなたひどく怒つてたけど、どういつ神経してるの?

え? なんとか言つたらどうなの? もう、もうひとつ、待ちなさい… じい行ぐの!  
(ためいき)どうしたらいいのかしら?

青転。

音楽の間に、役者は別の葉に移動する。または、下手に引っ込んで、別の役者が上手から出でてくる。  
明転。

## 第九話

役者は、抜き足差し足で葉を移動しようとして、誰かに呼び止められ、振り返る。

はい! お母さん、何。え? 何も忘れてないと思うけど…。ああ、そうだった、そうだった。そういや、今日終業式だつたねー。んー、まあ、見せてもいいけど、お母さん、このところ、調子悪いつて言つてたからさあ、あんまりショック『えてもつて思つて…。あーはいはいはい。どうぞ、ご覧下さいませ。

(間)いや、だから、見ない方がいいよつて。はいはい、『めんなさいめんなさい。次から頑張ります。いや、でも、ここ見てよ。これ、ぐぐつと上がつてゐるでしょ。そこんところ、認めてもらつてもいいかなあつて。うん、まあ、数学なんか、進学には何の役にも立たないけど、でも、楽しいんだよ?

やつてゐるうちに時間忘れちゃう。本当に、数の世界つて美しいんだから。

そりやあ、体育頑張れる人はバリバリに進学して、将来は幹部候補生つてところだらうけど、別にそんなエリート人生だけがいいわけじやないと思つよ。いや、逃げてるつもりはないけど、でも、頭使うことだって、社会の役に立つはずだよ。あたしは、突撃練習の時だつて、ついついひるんじゃうし、戦闘シミュレーションの心理テストだつて、どうしても敵に対して残酷になりきれないし、それつて駄目なのは分かつてゐるけど、どうしようもないのよ。

努力が足りないって、先生もお母さんも言つけど、体も心もなかなか変えられないの。はつきり言つちやうと、変える努力自体、あんまりやりたくないの。根っからの怠け者なのかも知れないけど、ランニングしたり、ベンチプレスしたりするより、計算問題解いてる方が好きなのよ。

数学の先生が言つた。「君たちの勉強してるものの中で、数学だけは変わらないものなんだ」つて。うん、つまりね。時代が変わつたり、国が違つたりすれば、ほかの科目の内容つてどんどん変わってしまいます。やない。スポーツのルールもトレーニング方法も変わつちゃうし、科学だつて新発見によつて教科書の内容が変わるでしょ。でも、数字だけは変わらないのよ。ね？ すごいでしょ。どこの国でも、どんな未来でも、宇宙人が見たつて、三角形の内角の和は一八 度だし、円周率は果てしなく数字が続くのよ。それでね。その先生は言つた。「どんなに憎むべき敵だと言つてゐる国の人であつても、数学は差別をしない。数学をやる人間にとつては、どんな人でも友達だ。」つて。うち、進学校で、数学なんて必要ないつて思つてゐる人がほとんどだから、みんな眞面目に聞かないけど、そういう話を繰り返しするの。

でも、昨日なんかひどかつた。先生の話の途中で、一番よくできる子が立ち上がり、こう言つたの。「先生、変な考えを吹き込むのはいい加減やめてください。敵は敵です。敵に勝つて國を繁栄させるために、僕たちは勉強してるんじゃないですか。僕たちには迷いは禁物なんです。先生、先生は教師を辞めるべきです！」

え？ お母さんもそう思つの？ そななんだ。私がおかしいのかなあ。うん。よく考えます。これからなんとか頑張るから。で、今日のおやつ何？

青転。

音楽の間に、役者は別の葉に移動する。または、下手に引っ込んで、別の役者が上手から出でてくる。  
明転。

## 第十話

役者、正面に向かつて、アカペラでゆづくり歌う。

しゃほんまだとんだ

やねまでとんだ

やねまでとんで

こわれてきえた

しゃぼんだまきえた  
とばすにきえた

うまれてすぐに  
こわれてきえた

かぜかぜふくな  
しゃぼんだまとばそ

メモをとりだして読む。

しゃぼん玉。野口雨情作詞、中山晋平作曲。

野口雨情は、結婚して八年間子どもができなかつた。待望の長女、みどりが北海道の小樽で生まれたのは、明治四一年（一九一八年）のことだった。しかし、みどりは生まれてわずか八日目にインフルエンザで肺炎をおこして亡くなつた。やつと授かつた初めての子を突然失つた野口雨情の心の痛手は想像するにあまりある。

現在、全世界で5歳の誕生日を迎えることなく亡くなる子どもは、一年間に一、二万人。これは、日本の東北地方を全て合わせた総人口、九八万人をはるかに超えている。そのうちの七五%をサハラ以南のアフリカと南アジアの子どもたちが占める。死因の半分は、肺炎・下痢・はしか・マラリアといった病気である。多数が亡くなる地域では、安全な飲み水が確保できないなど衛生環境の劣悪さと、医者の数の不足が、顕著である。

また、戦争の起きている地域で真っ先に犠牲になるのも子どもたちである。イラクでは、戦争以前から5歳未満の子ども百万人以上が栄養不良状態にあつたが、爆撃開始によつて、そのうちの多くの命が失われた。

豊かな先進工業国においては、虐待が深刻化している。先進国では、毎年三、五人の子どもが虐待によつて死亡しているとの報告もある。

かぜかぜふくな  
しゃぼんだまとばそ

青転。

音楽の間に、役者は別の葉に移動する。または、下手に引っ込んで、別の役者が上手から出でてくる。  
明転。

## Hピローグ

役者、正面を向き、真ん中の葉の上に置いてあつた植物図鑑を再び拾い上げて読む。

「オオオニバスに関する解説追加。オオオニバスの群生する水域にボートで入り込むと、あまりの大きさに自分が小さくなってしまつたような錯覚に陥つてしまふ。接近して葉をつまむと、ビニールのようなツルツルした手触りであるが、裏側に手を伸ばすと大きなトゲがチクチクと刺さる。

ほとんどの図鑑には、この浮力の強さだけが強調されているが、もちろん大人が乗れるほどの浮力はなく、支えられるのは三キログラム程度。葉の上がきわめて不安定であることは言うまでもない。

一八一年に発見されて以来、イギリスでの栽培が試みられたが、花を咲かせるのに成功したのは約五十年後であった。最初の花は当時のヴィクトリア女王に贈られた。この植物の名、「ヴィクトリア・レギア」は、女王の名にちなんだ。花は夜に開き、直径約三十センチで白色、バナナのような香りを放ち、二・三日咲き続ける。一日目からはピンク色を帯びてきて、一日目とは別の花のようになる。」

役者、隠し持つていた花の模型を客席に示す。同時に音楽が鳴り緞帳下りてくる。幕。

の別ヴァージョン集

第一話（二人バージョン）

AとB、別々の葉の上で、斜め前を向いて対話。Bは登場の際に椅子を持ってくる。それに座って、み物をしている。A、立つて、すばらくその様子を眺めているが、意を決して話しかける。

編

A お母さん  
B ん？

A 実は話があるの。聞いてくれる？

B なんだい、あらたまつて。

A 驚かないでね、実は今日、お別れなの。

B え？

A 本当なのよ。お別れなの。

A お別れって、もしや、おまえ、あの人にについて行くのかい？

B ううん、彼と行くわけじゃないの。そりゃあ、彼のことはどうでも大切だけど、お母さんを置いてついて行かなきゃいけないとは思わないわ。

A ほんのしばらく待つていれば、仕事も終わって帰つてくるし。

B それじゃあ、一体？

A 大切な用事があるの。  
大切な用事？

B そう、黙つて待つてもなんともならないことなのよ。  
…。

A 私、実は正義の味方なのよ。  
B ええ？

A 悪と戦うために選ばれた者なの。  
B 何を言つてるんだい？

A お母さん、私たちの生活から平和が失われて、どのくらい経つ？

B さあ、平和なんて、知つてゐる人間はこのへんにやいないよ。

A そうよね。安心して暮らせる時なんて、一瞬もないわ。それは全部、あの悪の組織のためよね。やつらのために、私たちはいつまでもいつまでもおびえて暮らさないといけない。

B いつ何が起こつても、不思議じゃないからねえ。

A もう、こんなことを終わらせなければいけないの。分かるでしょ。

B 終わらせる…。

A そう。実は、昨日の夜、出動命令が下ったのよ。だから私、行かなきゃならない。

B おお、そんな…。（顔を伏せる）

A 泣かないで、お母さん。

B なにも、お前じゃなくとも。もうすぐ結婚だといひの。」「…」。

A そうかもしない。でも、私、考えたのよ。生まれてからこんなに深く深く考えたことがないくらい考えたのよ。彼と結婚して、子どもが生まれて、育つていく様子を。私の愛しい子が、あいかわらず、悪の魔の手におびえながら生きていいくのよ。それは耐えられないことだわ。

B それは、悲しいことだけど。

A 私の子だけじゃない、これから生まれてくるすべての子どもたちが戦いの毎日を生きていいく。それを今変えなければ。私が死ねば、私の子どもはこの世に生まれないけれど、ほかの数え切れない子どもたちの未来がそれで平和になるのなら。

B でも、そのためにお前が不幸になるというのかい？

A 不幸になりたいわけじゃない。でも、私はしあわせを求めちゃいけないのよ、それが選ばれた正義の味方なの。

B 正義の味方…。

A それじゃ、お母さん、いつてきます。世界を救うため、悪と戦ってきます。泣かないで、お母さん。

私は、みんなの中で、お母さんの中で永遠に生き続けるわ。だから、私のことは心配しないで。

役者、正義のヒーローの変身ポーズをとる。変身の効果音がして、ストップモーション。そのポーズに、ラジオのニュースのアナウンスがかぶる。

ニュースをお伝えします。今日、日本時間の未明、イスラエル北部ネタニヤで自爆テロがありました。現場は商店街の中央付近で、買い物籠の中に隠し持った爆弾を破裂させたものとみられます。実行犯とみられる遺体も見つかっており、十七歳の少女であると伝えられています。この爆発により、5人が死亡、約90人が負傷しました。イスラエルでの自爆テロは3ヶ月ぶりで、パレスチナ自治政府と過激派各派がイスラエルとの一時停戦に合意してからは初めてとなります。ロイター通信によりますと…

（アナウンス、フェイドアウト）

### 第三話（二人ヴァージョン）

おもちゃ売り場で、動こうとしない子もBを、母親Aがなんとか移動させようと手を引っ張っている  
芝居。

A ほらー！ ちょっと動きなさい。  
B やだ、おもちゃ見る。

A もう十分見たでしょ。

B これ、買って。

A 買わないわよ、絶対。うちはあんまりお金ないの。  
B これ、安いから買って。

A 何、それ。

B BB弾。バンバンて鉄砲撃つの

A 今持つてるの使つてからにしなさい。それなら買ってあげるから。  
B じゃあ、こっち。持つてないから。

A 手品セット？

B 鳩の出てくるやつ。

A 要らないでしょ、そんなの好きでもないくせに。

A やだ、好きだもん。  
B もう、そこに戻しなさいって。  
A やだ、ほしい。

B もういい加減にして！（強く引っ張る。おもちゃが落ちて壊れたのを、二人見つめる。）  
(泣きそうな顔)

A ああ、もうー！ ほら、壊れちゃったでしょ？（逆方向を見て）あ、お店の人？

B ごめんなさい。

A (子どもを振り返って) 黙つてなさい！（お店の方へ）駄目よ、こんな落ちやすいところに並べちゃ。けがしたらどうすんの？ 改善しといでね。意見箱に入れとくからー。  
(子どもを振り返って) いい？ 簡単に謝っちゃだめ。自分が悪いってことを認めたら、ぜーんぶ今までのこととも間違いつことになっちゃうの。たとえば、わたしたちの住んでるおうちば、昔、もともと住んでた人たちを無理矢理追い出したところなの。そういうことから始まって、全部責められるのよ。それじゃ、困るでしょ？ 明日から、みんなに威張れないでしょ？ だから、何をやつても、とにかく正しいって言い張るの。悪いのは全部相手なのよ。分かった？  
(泣きじやくりながら) 分かった。

B ほらほら、もう泣かないの。強くなきや生きていけないのよ。  
A うん。うん。

A あ、ほら見て。」  
A あー、いーっぱい、テレビがある。

B すいねえ。（じぱりく見る）もういい？ じゃ、行くよ。  
A もうちょっと。  
A お母さん、買いたいものあるから。サラダ油の特売。  
B お母さん、油、よく買うね。

A いいの。ほら、行くよ。  
B もうちょっと。  
A もういい加減にしてよ、テレビならうちで見れるでしょ？

B あ、ほら、メキシコで銀行強盗だつて。  
A よくあることよ、ほら、行くよ。

B 今度は、フランスで飛行機事故。

A それもあるある、ほら。

B 中国で地震だよ。

A 分かった分かった、後でね。  
B 日本で首相は変わったって。

A 一番どうでもいい、そんなの。

B あ、ハワイで津波。

A え？ うーん（ちょっと迷う）、ま、とにかく特売。ほら、立つて！ 置いてくよ。いいの？

B やだ。

A はいはい、走る走る。もう、どうかな。（売り場に到着。正面を見て）ああ、売り切れだ！

B 困ったなあ。あ。（子供を振り返って）いい、あそこに置いてあるカート見える？

A うん。

B あれに入ってる油、持ってきて。

A いいの？

B いいの！ お金払う前は、まだ誰のものでもないんだから！

## 第六話（一人ヴァージョン）

激しいテンポで音楽が鳴り響く。役者Aは髪を振り乱して、ノリノリで踊り続ける。しばらくして、役者Bが、上手から登場。葉の上をいろいろ移動しながら、子どもを抱えて訴えて歩く。

どなたか、お願いします。子どもが病気なんです。ワクチンがあれば助かるそうです。どなたか、どなたか、助けてください。お願いします。どうかお願いします。このままでは死んでしまいます。どうか、どうか。（と、三カ所くらいの葉の上で、見えない相手に懇願する。）

（踊っているAの横の葉に乗って）助けてやってください。とてもいい子なんです。毎日毎日、家族のために、十キロも離れた場所まで水汲みに行ってくれています。子どもの足だと往復で一時間もかかります。それを、日に何度も往復して運んできてくれます。水を入れた桶は、この子の肩に容赦なく食い込みますが、この子は愚痴一つこぼしません。毎日毎日、黙々と水を運んでくれます。

学校には行っていません。教育を与えてやりさえすれば、この子もこんな生活から抜け出す糸口をつかめるかもしれません、水汲みに時間をとられてそれどころではありません。第一、内戦続きで学校制度を整える力が、政府はないのです。

でも、この子も生きていさえすれば、いつかしあわせをつかめるかもしれません。今ここで死なずにはめば、どんなことが待つていてるか分かりません。どうか、どうか、ワクチンをください。あなたの持つていてるあふれるほどの財産のほんの一部で、この子の人生の何十年かが救われるのです。

わたしたちは、多くを望みません。テレビ？ コンピュータ？ 携帯電話？ もちろん、そんなものはいりません。きれいな服も、舌をとろかす食事も、温度を調節できるような家もいりません。ただ、雨露がしのげる屋根と、死なずにすむだけの水や食糧と、地雷の埋まっている地盤と、そういう明日も明後日も命が続いていく生活ができたら、それは私たちにとっては天国の日々です。なぜ、私たちにはそれがなく、あなたたちにはありますぎるのでしょうか。どうか、そのありますぎる中の一部をこちらへ向かって投げてください。この子も、そして同じような数多くの子たちも、たったそれだけで助かるのです。どうか。どうか。

（子どもの様子にハッと気づいて）ああ！ しつかりして。今助けてやるから。私の子！ いとしい子！ 世界にたつた一人の子！ ああっ！

Bの言葉と共に曲は終わる。踊り終えたAは、満面の笑顔で正面に向かつてピース。

A ピース！ 愛し合つてる？

## 第八話（一人ヴァージョン）

役者A・Bそれぞれ椅子を持つてくる。生徒と面談をする教員。Aは、ひざに面談簿（黒表紙）を置き、お互いに向き合って座つて話をする。

A じゃあ、まあ座つてちょうどいい。  
(座る)

A なんで呼ばれたか分かるわね。  
さあ。

A 分からないわけはないでしょ。

B あなたねえ、いい加減わがままをやめなさい。

A わがまま？

A いい？ クラスでせつかく頑張つて、学園祭にいいものを出そつと話し合つているんでしょう。意見を出すのはいいわよ。出し物に関する好き嫌いがあるのも、それは仕方ないとと思う。人間だからね。だから、そういう感情の問題も含めて、長く話し合いを続けているんでしょう。どう？  
B はい。

A で、それぞれに好みはあるけれど、予算の問題や、みんなの活躍の場があるかどうかってことをい

ろいろ検討して、だんだんにあのお芝居をやる方向に固まってきたんじゃない。

B でも…。

A それなのに、何？ ろくに話しかけてからも参加していないなかつたくせに、じきなりあなた何て言った？

B 「そんなのいやだ。」

A そうよね。で、みんながどうしてかって聞いてるのに、とにかくいやだの一點張り。

B だつて、いやだから。

A 理由を言わなきゃ、何考えてるかさっぱり分からぬでしょ。話し合いのルールを無視してるこ

とにならない？ ビうなの？

…。

A また、だんまり？ だまつてるんなら、ずっとだまつて自分の仕事をすればいいじゃない。それに、あなた、さつきなんて言った？

B 別に。

A 別にじゃないでしょ。「これを見るんだったら、絶対俺が邪魔してできなこひしてやる。」  
あなた、そう言ったのよ。そんな言いぐさがあな..。

B だつて、いやなことに決まっちゃいそつだから。

A あなたは、間違ったことをやる、迷惑をかけてやるつて宣言してるので。間違ったことをやらせたくなければ、こっちの思う通りにしろって、そんな馬鹿な理屈がどんにもある..

A B  
…。

A あんまりあきれたから、みんな話し合いつゝ氣力なくなつちゃつたでしょ。せつかく担任なしで話し  
合いが盛り上がつてたのに、台無しじやない。

B 台無しになつた方がいい。

A 馬鹿なこと言わないで！ 仕方がないから、今の発言だけは撤回しなさいって言つたら、「絶対に邪  
魔する」って言い張つたわね。それじゃ、あなたをクラスに置いとけなくなるでしょ？ いいの？  
このクラスにいられなくなつても、何とか言つたらどうなの？

…。

A B  
(ためいき)あのねえ。無理矢理妥協しろって言つてるわけじゃないの。ただ、ちゃんと話し合わ  
なきゃ、前に進めないでしょ。

B 話し合つても負けるだけだし。

A B  
勝ち負けじゃないの。この世界にあなただけが生きてるんじゃないでしょう？ あなたがお山の大  
将でほかは全部服従つてわけにはいかないのよ。

そんなんのやつてみなければ分かんないじやん。

A B  
無理よ。この前も、人の筆箱からシャーペンやら、消しゴムやら、あつあつから勝手に取り出  
して、自分の筆箱に入れてたでしょ？ あなたが持つてるんじゃないのって言つても、絶対知ら  
ないつて言い張つて、それなら見せてつて筆箱開けたら、他の人がぞろぞろ出てきたでしょ。

しかも、あなた、それに自分の名前書いてたわよね。持ち主に返したら、あなたひどく怒つてたけ  
ど、どういう神經してるの？ え？ なんとか言つたらどうなの？

(いきなり立ち上がつて、上手に走り去る)

A B  
ちょ、ちょっと、待ちなさい！ どこ行くの！ (ためいき) どうしたらいいのかしら？

Aは、抜き足差し足で葉を移動しようと、Bに呼び止められ、振り返る。

B しおりー。

A はい！お母さん、何。

B 何か忘れてない？

A え？ 何も忘れてないと想つけど…。

B (むら) (むら)

A ああ、そうだった、そうだった。やつこや、今日終業式だったねー。

B 出しなさい。

A んー、まあ、見せてもこなさ、お母さん、このじいろ、調子悪くなって言つてたからさあ、あんまりシヨック[えても]思つて…。

B あーはいはい。じうど、い覽下さいます。(カバンから通知表を出して渡す)

(通知表をにらんで無言)

A (間)(いや、だから、見ない方がこなみて)

B 見なけりや、成績が変わるの？

A はいはい、めんなさい。次から頑張ります。いや、でも、じい見てよ。これ、ぐぐっと上がつてるでしょ。やうんといふ、認めてもらつてもいいかなあって。

B 数学が上がつてもねえ。

A うん、まあ、数学なんか、進学には何の役にも立たなこなさ、でも、樂しいんだよ? やつこちに時間忘れちゃう。本当に、数の世界って美しいんだから。

B それもいけど、まずは、体育でしょ。

A そりゃあ、体育頑張れる人はバリバリに進学して、将来は幹部候補生つてじうだらうけど、別にそんなエリート人生だけがいいわけじゃないと思つよ。

B いつもいつもそんな屁理屈で逃げて。

A 逃げてるつもりはないよ。頭使つことだつて、社会の役に立つはずだよ。

B そんなの一部の専門家だけよ。

A あたしは、突撃練習の時だつて、ついついひるんじゅうし、戦闘シミュレーションの心理テストだつて、どうしても敵に対しても残酷になりきれないし、それって駄目なのは分かつてゐけど、どうしようもないのよ。

B 努力不足つてことじょー…

A 先生もそう言つたが、体も心もなかなか変えられないの。ほつきり言つちやうと、変える努力自体、

あんまりやりたくないの。ランニングしたり、ベンチプレスしたりするより、計算問題解いてる方が好きなのよ。

いい加減にしなさいよ！

A B A B  
数学の先生が言うの。「君たちの勉強してるものの中で、数学だけは変わらないものなんだ」って。変わらないもの？

A B A B  
うん、つまりね。時代が変わったり、国が違つたりすれば、ほかの科目の内容つてどんどん変わってしまうじゃない。スポーツのルールもトレーニング方法も変わっちゃうし。科学だつて新発見によつて教科書の内容が変わるでしょ。でも、数字だけは変わらないのよ。ね？ すごいでしょ。どこの国でも、どんな未来でも、宇宙人が見たつて、三角形の内角の和は一八〇度だし、円周率は果てしなく数字が続くのよ。

B そんなこと言う先生がいるの？

A B A B  
それでね。その先生は言うの。「どんなに憎むべき敵だと言われている国の人であつても、数学は差別をしない。数学をやる人間にとつては、どんな人でも友達だ。」って。うち、進学校で、数学なんて必要ないつて思つてる人がほとんどだから、みんな真面目に聞かないけど、そういう話を繰り返しするの。

B みんな、それで黙つてるの？

A B A B  
ううん、昨日なんかひどかった。先生の話の途中で、一番よくできる子が立ち上がって、「いつ言つたの。

「先生、変な考えを吹き込むのはいい加減やめてください。敵は敵です。敵に勝つて国を繁栄させるために、僕たちは勉強してるんじゃないですか。僕たちには迷いは禁物なんです。先生、先生は教師を辞めるべきです！」

B その通りよ。その先生、かなり危ないわ。

A B A B  
え？ お母さんもそう思うの？

B 誰が聞いたってそうよ。

A B A B  
そうなんだ。私がおかしいのかなあ。

変な話に流されないで、将来のために何が一番大事か、考えなさい。

A B A B  
うん。よく考えます。これからなんとか頑張るから。で、今日のおやつ何？